



第20回(令和4年度)

全日本ゼネラルチャンピオン賞

ダイヤモンドマーク賞



及川 茂鳩舎(東京中連盟・新日本連合会)

全国 **1位**

15回目

獲得  
ポイント

**10pt**

合計入賞率: 0.44014

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①21MM00605	BCW	♀	884羽	5位	0.00566
	②21MM00700	BC	♂	884羽	12位	0.01357
	③21MM00002	BC	♂	884羽	4位	0.00452
地区N	④21MM00705	BC	♂	381羽	19位	0.04987
	⑤21MM00601	BC	♀	381羽	11位	0.02887
	⑥21MM00652	B	♀	381羽	14位	0.03675
GP	⑦21MM00652	B	♀	234羽	12位	0.05128
	⑧21MM00705	BC	♂	234羽	24位	0.10256
桜花賞	⑨21MM00605	BCW	♀	68羽	3位	0.04412
	⑩21MM00632	S	♀	68羽	7位	0.10294

自鳩舎参加数、鳩舎位置といった鳩レース特有のハンディキャップがほぼ解消され、競翔家としての実力が最も顕著になる「全日本ゼネラルチャンピオン賞」。20回の節目となる令和4年度は7ポイントがボーダーとなる中、全国1位にあたる「ダイヤモンドマーク賞」はなんとフルポイント獲得鳩舎だった。13年ぶりに果たしたのは、及川 茂鳩舎(新日本)——。全日本ゼネラルCH賞最多受賞を誇る「絶対王者」が、「絶対的成績」で3年ぶりに返り咲いた…!

及川 茂鳩舎のプロフィール

- 鳩歴: 63年 ・ レース歴: 63年
- 鳩舎規模: 種鳩6坪100羽 選手鳩6坪100羽
- 主力系統: 若大将系、及川シャンテリー系、コンピューター系
- 22年春のスタート羽数: 62羽
- 選定方法
  - Rg — データとコンディション
  - 地区N — データとコンディション
  - GP — データとコンディション
  - 桜花賞 — データとコンディション



## 真の実力タイトル

### それがゼネラルCH!

全日本ゼネラルチャンピオン賞（\*以下「全日本ゼネラルCH賞」）は、マークを対象としたタイトルである。対象レースはRg、地区N、GP、桜花賞あるいはGN（\*連盟ごとに設定）の4レースだ。マークしたトリが「20%内入賞することで1点獲得」とし、Rgと地区Nは3羽、GPと桜花賞あるいはGNは2羽で10点を満点としている。ベルギー王立愛鳩家協会（\*以下KBDB）の同タイトルに倣って設立された本賞は、日本だとゲームの延長線上という意識が未だ残っているかもしれないが、本場・ベルギーではこのゼネラルCHこそむしろ最高賞だ。

される——。これが彼らのゼネラルCH賞に対する認識、かつ評価なのだ。

規程がKBDBとほぼ同じであることから、全日本ゼネラルCH賞も真の実力者を決めるタイトルというわけだが、20回目となる22年に申請があつたのは22鳩舎。強豪あるいは実力派ばかりであり、結局は本質に沿ったラインナップとなっている。そして受賞のボーダーは例年だと6点のところ今年が7点！ハイレベルな闘いとなった。

そして全国1位であるダイヤモンドマーク賞に輝いたのは、これまで全日本ゼネラルCH賞の最多受賞鳩舎（\*21年時点で14回）であり、また日本優秀鳩舎賞9回、日本A賞22羽というその実績から日本鳩レース界最強の1人といつて過言ではない**及川茂鳩舎（新日本）**である。しかも13年ぶりにフルポイントを実現させ、19年以来——3年ぶりに“もう一つの日本”に返り咲いた。

## フルポイントで返り咲いた

### 絶対王者!

及川鳩舎の選定法は、系統で絞り、それからコンディションで決めるといったものである。マイスタイルに揺らぎはなく、22年は系統面で日本A賞を10羽以上輩出している。APファクトリー。こと及川シャンテリー系のゴールデンカップル——の四代目（\*ズピードシャンテリー55号）×10MM02127の孫、その分家であるターボ軍団（\*007）×ミス怪物シャンテリー336号）、そして及川鳩舎の代名詞「若大将系」の最新アタリ配合（\*プラチナ若大将号）×リアル若大将号の直仔で、某TV番組で明石家さんま氏が命名した「若旦那」ことゴビーパーフェクト若大将号を個体として抽出。コンディション面では**羽毛の艶がメタリック**になっている、**動作が機敏**になっているという2点を特に注目したようだ。

結果、フルポイントという驚異的な「率」で日本一を奪還できたことから、及川鳩舎の鉄板式が見事にハマったとしか言いようがない。しかも10点中7点が5%内というハイパフォーマンス！なおかつポイントゲッター7羽中4羽（\*①&②、③、⑩）が連盟のAPタイトルを手中に収めており、うち「21M00605（\*①&②）」にいたつては、会長賞、KBDB会長賞、日本A賞の三冠に輝いている。「APファクトリー」の異名は伊達ではない。

さて及川鳩舎のダイヤモンドマーク賞は、これで11回目。全日本ゼネラルCH賞において自鳩舎以外更新不可ともいえる絶対領域に突入しているわけだが、勝因は鳩を飼うのではなく、飼われることにあるという。同鳩舎は舎外、給餌の時間に必ず間に合うよう家に帰るというエピソードがあるほどのピジョンファースト。さらに選手鳩たちとの触れ合いは給餌の時間に限らず、こまめに行っており、これこそがコンディションの微妙な変化に気づける重要なポイントになるとのことだ。当協会の「YouTubeチャンネル」で最も閲覧数の多い「及川茂鳩舎 レース鳩に対する接し方」を見ると、鳩への愛情は人一倍に強く、またレース鳩もそれに応えているのがわかる。その姿は競



ダイヤモンドマーク賞 (全国1位) 受賞のポイントゲッター総覧

③東京中連盟Rg884羽中総合4位

21MM00002 “コピーパーフェクト若大将号”  
BC ♂ 及川 茂鳩合作翔

- \*シルバーエクセレントビジョン、中距離AP賞連盟1位
- “プラチナ若大将号” 10OL17721 B 未永恵一作翔  
12年ニュー宮城連盟稚内800K総合14位  
若大将系175重近親
  - “リアル若大将号” 15MM03051 BC 及川 茂作翔 16年GP連盟2位
  - “リアルシャンテリー号” 14MM00017 S 及川作翔  
15年桜花賞総合6位
  - “ワイン若大将号” 14MM00024 BC 及川作翔  
15年長距離AP賞連盟2位 14年KBDB会長賞全国優勝の娘

④東京中連盟地区N381羽中総合19位

⑧GP東京中連盟234羽中24位

21MM00705 BC ♂ 及川 茂鳩合作翔

- 18MM03280 B 及川 茂作
- “キングハリー” NL16-1663903 BC ヤン・ホーイマンス作  
“ハリー” (\*WHZB長距離ナショナルAP賞1位)の直仔×娘  
異母兄弟/“ニューハリー”
- “ファイアーハリー” NL15-1850075 BC ヤン・ホーイマンス作  
“ハリー”の娘
- “スーパースターシャンテリー号” 13MM00747 BC 及川 茂作翔  
14年飛翔会CH800K総合6位
- 11MM03048 B 及川作
- “シャンテリースプリンター号”×“シャンテリーホープ号”  
→ B09-6241232 BC ベルクモース作  
“スプリント”×(“スプリント”直仔×“ドンケレ18”娘)

⑤東京中連盟地区N381羽中総合11位

21MM00601 “ターボシャンテリー1号”

BC ♀ 及川 茂鳩合作翔  
全兄弟/21MM00652(⑥&⑦)、

17年日本AP賞全国6位、19年日本AP賞全国7位

- “ターボシャンテリー号”  
15MM01477 BC 及川 茂作翔 15年秋AP賞連盟1位
- “007” NL09-1349007 BC レジデンス作  
“クライネディルク”の孫
- “ミス怪物シャンテリー-336号” 08MM00336 BC 及川作翔  
14年秋AP賞連盟1位  
“シャンテリー-シルバー号”×“スプリンター号”近親  
03年会長賞×08年日本AP賞全国8位&会長賞
- “ベストシャンテリー号” 11MM00026 BC 及川 茂作翔  
12年春300K総合7位他  
→ “シャンテリー-019号” 03MM00019 B 及川作翔  
04年秋200K総合優勝  
“シャンテリースプリンター号”×“シャンテリーホープ号”
- “ベストコンピューター号” 10MM02040 BCW 及川作翔  
10年秋300K総合3位、12年春100K総合8位

⑥東京中連盟地区N381羽中総合14位

⑦GP東京中連盟234羽中12位

21MM00652 “逆風ターボシャンテリー号”

B ♀ 及川 茂鳩合作翔  
全兄弟/21MM00601(⑤)、

17年日本AP賞全国6位、19年日本AP賞全国7位

- “ターボシャンテリー号”
- “ベストシャンテリー号”

⑩東京中連盟桜花賞 68羽中総合7位

21MM00632 “スピード若大将号”

S ♀ 及川 茂鳩合作翔  
\*長距離エースビジョン賞連盟1位

- 17MM02854 S 及川 茂作  
全兄弟/14年日本AP賞全国5位、全国9位
- “スピードシャンテリー-55号” 09MM00055 B 及川作翔  
09年秋100K総合優勝、200K総合2位
- “シャンテリー-127号” 10MM02127 S 及川作  
“シャンテリーNo.1”×“プリンセスインパニス”  
全兄弟の娘/17年日本AP賞全国1位&KBDB会長賞全国優勝
- 17MM02863 B 及川 茂作 全弟/21MM00002 (\*③)

①東京中連盟 Rg 884羽中総合5位

⑨東京中連盟桜花賞 68羽中総合3位

21MM00605 “スピードシャンテリー-BCW号”  
BCW ♀ 及川 茂鳩合作翔

\*日本エースビジョン賞全国3位、  
KBDB会長賞連盟1位、会長賞



- 18MM02685 BCW 及川 茂作
- “ヤンセンキング” B08-6383272 BC ヤンセン兄弟作  
→ “エッグシャンテリー号” 13MM00019 BCW 及川作翔  
13年秋Rg400K総合6位他  
父/“シャンテリースプリンター号”×“シャンテリーホープ号”
- “スピードシャンテリー-99号” 13MM00799 B 及川 茂作翔  
14年日本AP賞全国9位、飛翔会CH800K総合5位他  
全兄弟/14年日本AP賞全国5位
- “スピードシャンテリー-55号” 09MM00055 B 及川作翔  
09年秋SC100K総合優勝、200K総合2位  
父/“シャンテリー-シルバー号”×“スプリンター号”
- 10MM02127 S 及川作  
“シャンテリー-No.1号”×“プリンセスインパニス”  
全兄弟の娘/17年日本AP賞全国1位&KBDB会長賞全国優勝

②東京中連盟Rg884羽中総合12位

21MM00700 “デカプロシャンテリー-700号”

BC ♂ 及川 茂鳩合作翔

\*中距離AP賞連盟3位

- 19MM02678 DC 及川 茂作  
全兄弟/21MM00601(⑤)、21MM00652(⑥&⑦)、  
17年日本AP賞全国6位、19年日本AP賞全国7位
- 18MM02565 BC 及川 茂作  
→ “デカプロ” B08-6338283 BC ファンダイク作翔  
エタンプ29位、56位  
“ディカプリオ”×“カニパール”の娘  
直仔/20年度八郷国際鳩会500K3位
- “スピードシャンテリー-1号” 14MM00001 B 及川作翔  
15年飛翔CH800K総合10位・連盟優勝  
全姉/14年日本AP賞全国6位、9位

翔家としてだけでなく、愛鳩家としても鑑と言えよう。そしてポイントゲッター陣営は、「優勝至上主義」である日本鳩レース界では希少なAP特化型の系統から生み出されており、「確実に上位に帰る」レースが主体となっていることもまた大きな強みだ。

果たして令和になって早くも2度目の全国1位を獲得した及川鳩舎。鳩レースに全てを捧げる絶対王者のストーリーはまだまだ続きそうである。



# 第20回(令和4年度)

## 全日本ゼネラルチャンピオン賞 プラチナマーク賞



### ナンバーワンポイントゲッター

- ②埼玉連盟Rg 7,433羽中総合159位
- ⑤埼玉連盟地区N5,849羽中総合164位
- ⑦GP埼玉連盟 4,411羽中総合266位

“覚松白鶴タイタン439号”

20KA20439 B ♀ 富田欣宏鳩舎作翔  
全姉/20KA20461(\*⑧)



2回目

全国  
**2位**

**富田欣宏鳩舎**  
(埼玉連盟・埼玉北葛連合会)

獲得ポイント **8pt** 合計入賞率 **0.32341**

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①20KA26390	B	♂	7,433羽	775位	0.10426
	②20KA20439	B	♀	7,433羽	159位	0.02139
	③19KA35057	B	♀	7,433羽	303位	0.04076
地区N	④20KA26390	B	♂	5,849羽	97位	0.01658
	⑤20KA20439	B	♀	5,849羽	164位	0.02804
GP	⑦20KA20439	B	♀	4,411羽	266位	0.06030
	桜花賞 ⑧20KA20461	BC	♀	1,495羽	39位	0.02609

- 18KA20329 B 新井 繁作  
直仔/KBDB会長賞連盟1位、シルバーエクセレントビジョン
- “白鶴レジョナルII” 17KA29846 B 新井作翔  
18年埼玉連盟Rg総合優勝
- 17KA30008 B 新井作翔 **18年会長賞**、Rg総合8位
- “覚松汐見ビックV1” 14-039951 BC 富田欣宏作翔  
15年関東支部連盟GC1000K総合優勝
- “タイタンジュニア” 04LC04050 BC 浅田光一作  
オリンピック代表鳩“タイタン”の直仔
- “覚松トキエ汐見V1” 13-025280 BC 富田作翔  
14年関東支部連盟GC1000K総合3位・合同会優勝

#### 富田欣宏鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：66年 ・レース歴：58年
- ・鳩舎規模：種鳩4.5坪50羽 選手鳩3坪50羽
- ・主力系統：覚松系、不死鳩系、白鶴系、  
AAA輸入系、デルバール系、ブリュッヘマン兄弟系
- ・22年春のスタート羽数：39羽
- ・選定方法  
Rg — データとコンディション  
地区N — データとコンディション  
GP — データとコンディション  
桜花賞 — データ

**3羽の成鳩が大活躍！**  
アクシデントが起きても全国2位

次点の8点はなんと3鳩舎が競う形となった。近年稀にみるハイレベルな三つ巴戦のトップ——全国2位に値するプラチナマーク賞に選出されたのは、**富田欣宏鳩舎**である。同鳩舎は昨年、ベストマーク賞のトップを射止めており、2ランクアップで2年連続の受賞を果たした。

スタート39羽という少数精鋭で、本賞レースには37羽で参加。とはいえシーズン前からマークするレーサーを3羽に絞っており、8ポイント中7ポイントがまさにそれである。3羽とも成鳩でうち2羽が10000Kまで経験。とはいえ3羽とも「**前年の成績はコンスタントに入賞**」を重ねており、

また配合は勢山、岩田、ヤンセンなどをベースとした自鳩舎飛び筋「覚松系」にあらゆる血を流し込むハイブリッド方式だ。また1年で3つの組み合わせで配合を行い、結果が出なければ種鳩から解雇。厳しい選定を乗り越えて作られた「**精鋭**」ということである。ゆえに全日本ゼネラルC賞2年連続受賞、昨年は他に日本優秀鳩舎賞とブロックC賞のダブルを果たしており、富田鳩舎の成果から、まさしく「**柔よく剛を制する**」といったところか。

同鳩舎はタイトルがあるならある分だけ獲得したいという強いモチベーションを持っていて、来年用にまたエース級の成鳩が3羽在舎しており、少なからず日本2位まで上り詰めた全日本ゼネラルC賞では、頂点を見据えた戦いをしてくるであろう。

20%内入賞ならば、かつコンディションが崩れなかったため選び続けたようにだ。

3羽だけで最後まで戦うつもりだったが、今回3点獲得したベストポイントゲッター「**20KA20439**」(\*②&⑤&⑦)が、桜花賞前の舎外で負傷。しかし代役にこのエースの全姉を選び、1点獲得している。結果4羽で8点はお見事としか言いようがない。

そもそも富田鳩舎のトリは、「**確実に帰る**」をテーマに作られており、距離を問わずに帰還率がすばる良いとのこと。それは今年の「レース鳩帰還率賞」にも反映されており、地区Nシルバークラスにて全国1位に輝いている。





# 第20回(令和4年度)

## 全日本ゼネラルチャンピオン賞 ゴールドマーク賞

### ナンバーワンポイントゲッター

- ②静岡連盟Rg 572羽中総合14位
- ⑤静岡連盟地区N 340羽中総合12位
- ⑦GP静岡連盟 161羽中 9位

"デーレン89号"

20PA02589 BC ♀ 横地光彦鳩舎作翔  
全妹/21PA01369(\*①&④)



4回目

全国  
3位

横地光彦鳩舎  
(静岡連盟・静岡県連合会)

獲得  
ポイント 8pt

合計入賞率: 0.40650

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①21PA01369	B	♀	572羽	13位	0.02273
	②20PA02589	BC	♀	572羽	14位	0.02448
	③21PA01536	BC	♀	572羽	15位	0.02622
地区N	④21PA01369	B	♀	340羽	2位	0.00588
	⑤20PA02589	BC	♀	340羽	12位	0.03529
	⑥21PA01536	BC	♀	340羽	19位	0.05588
GP	⑦20PA02589	BC	♀	161羽	9位	0.05590
	⑧21PA01536	BC	♀	161羽	29位	0.18012



- "ダービーマーク44" 17PA01944 B 横地光彦作
- 13PA05725 BC 横地作 "ハルカ"の孫
- "ダービーマーク" 14PA05472 B 横地作翔
- 15年日本エースビジョン賞全国10位
- "デーレン74" 14PA05474 RC 横地光彦作翔
- 15年春静岡連盟Rg500K総合4位
- 09PA05551 RC 横地作
- "デーレン"(97年サンパンサンN3位) × 09年総理大臣賞東部地区1位
- 12PE09537 B マルジンロフト作
- "当日"(静岡2地区CH900K総合優勝)の娘

### 横地光彦鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴: 57年 ・レース歴: 57年
- ・鳩舎規模: 種鳩9坪100羽 選手鳩6坪100羽
- ・主力系統: 横地スピード系
- ・22年春のスタート羽数: 85羽
- ・選定方法
- Rg — データ(1羽目と2羽目)、データとコンディション(3羽目)
- 地区N — データ(1羽目と2羽目)、データとコンディション(3羽目)
- GP — データ(1羽目と2羽目)、データとコンディション(3羽目)
- 桜花賞 — 未回答

余力を残して  
10年ぶりにベスト3入り!

全国3位に該当するゴールドマーク賞は、2年連続静岡連盟から誕生! 8ポイントの2番手であり、12年の王者・横地光彦鳩舎が10年ぶりに全日本ゼネラルCH賞に返り咲いた。同鳩舎は、参加羽数の影響が非常に少ない「実力最優先」となるこのマークタイトルに力を注いでおり、ゆえに今回の受賞、かつベスト3入りは嬉しいことに違いない。

22年は85羽でスタート。これまで持ち寄り場のコンディションで最終チェックを行うことで、マークを外すことが多かったという苦い経験から今年「系統」1本——近年自鳩舎のみならず、鳩友の下で活躍率が非常に高い「デーレン74」(\*サンパンサンN

3位の「デーレン」の孫)の血に注目した。春Rg前の時点でうち3羽に絞り込むと、これらでなんと8ポイントを獲得する。中でも「ダービーマーク」(\*15年度日本AP賞全国10位)の直仔×「デーレン74」の配合からは、2羽のポイントゲッターが生まれ、3点と2点を獲得。「対ゼネラル」のゴールドカップル誕生といったところだ。

そしてこれら3羽のうち2羽は産卵、あるいは直感で辞めた方がいいという判断の下、桜花賞に参戦はせず。これまでの傾向から最悪「8点」でも全国1位を狙えるという読みの甘さゆえの温存だったようだ。レース自体は総合優勝したものの、1羽目のエースは予感通り失い、2羽目については信用に足るような選手ではあらず。結果ゼロポイントで、日本一を逃す形になってしまったが、もちろん勝負の世界でタラレバはタブーであるが、余力を残してのゴールドマーク賞であったことは事実である。

さて静岡連盟はこの横地鳩舎の呼びかけなどもあり、マークレースが非常にさかんな団体だ。ゆえにベスト3入りの回数は全国トップクラスであり、今年も同鳩舎を含め2鳩舎が全日本ゼネラルCH賞に名を連ねている。マーク大国の強さを改めて全国に示したところだが、横地鳩舎自身、今回のカムバックは大きな刺激になっているとの由。黄金交代の発掘からも近いうち全国1位、かつこれまで2鳩舎しか実現できていない「フルポイント」という偉業を成し遂げてほしいものだ。



# チャンピオン賞・ベストマーク賞



全国  
4位

## 三宅良治鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：38年
- ・レース歴：38年
- ・鳩舎規模：種鳩8坪80羽  
選手鳩4坪200羽
- ・主力系統：ロベルト・ヴィナス系、  
プシャール系、  
デュサルタイン系、  
ヌーエン&パーセン系
- ・22年春のスタート羽数：91羽
- ・選定方法  
Rg — データとコンディション  
地区N — データとコンディション  
GP — データとコンディション  
桜花賞 — データとコンディション



**ブロックCH最多受賞鳩舎**  
**意外なゼネラル初受賞！**

初受賞

## 三宅良治鳩舎(瀬戸内連盟・岡山中央連合会)

獲得  
ポイント

8pt

合計入賞率：0.72478

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①21VV00824	B	♀	598羽	61位	0.10201
	②21VV00858	B	♀	598羽	90位	0.15050
	③20VV07111	BC	♀	598羽	117位	0.19565
地区N	④20VV07647	B	♀	312羽	4位	0.01282
	⑤21VV00858	B	♀	312羽	10位	0.03205
	⑥20VV07111	BC	♀	312羽	11位	0.03526
GP	⑦20VV00543	BC	♀	57羽	1位	0.01754
桜花賞	⑧21VV00858	B	♀	95羽	17位	0.17895

8ポイント勝負の3番手——ベストマーク賞のトップにあたる全国4位には、ブロックCH賞最多受賞を誇る強豪・三宅良治鳩舎が選出された。なお同賞の受賞は意外にも初であり、遅れてきた主役といったところか。

さて今回の賞レースには69羽で参加。規程4レースとも「データとコンディション」で選定した形だ。ポイントゲッター全5羽は、全て自身の基礎鳩「MR450(ロベルト・ヴィナス系、プシャール系)」の直系である。この血に対する信頼度の

高さが伺えるものの、系統でマークしたのはRgだけであり、他3レースは「過去の成績」がメインだ。うちベストポイントゲッターは、まぎれもなく3点獲得した「21VV00858(\*②&⑤&⑧)」であろう。一方のコンディション面では規程4レースとも持ち寄り2日前に掴んでチェック。かつ、「張りのある筋肉」、「艶のある羽毛」、「目の輝き」の3点に注目しており、これがマークを当てる上で最も重要な点だと捉えている。

全日本ゼネラルCH賞は、真の実力タイトルである。然るべき受賞を機に残り1つの最高賞——日本優秀鳩舎賞への飛躍にも注目だ。

全国  
5位

## 比留川道夫鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：34年
- ・レース歴：32年
- ・鳩舎規模：種鳩2坪50羽  
選手鳩2坪95羽
- ・主力系統：ときわ系、  
カイバー兄弟系、  
ファンデウエーゲン系、  
デーレン系
- ・22年春のスタート羽数：44羽
- ・選定方法  
Rg — データとコンディション  
地区N — データとコンディション  
GP — データ  
桜花賞 — 未回答



**役員たるものレースマンたれ**  
**をここに体現！**

初受賞

## 比留川道夫鳩舎(神奈川つばさ連盟・西湘連合会)

獲得  
ポイント

7pt

合計入賞率：0.47882

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①21ET01910	B	♀	676羽	5位	0.00740
	②20ET03311	BC	♀	676羽	10位	0.01479
	③20ET03335	BC	♀	676羽	14位	0.02071
地区N	④21ET01910	B	♀	494羽	97位	0.19636
	⑤20ET03311	BC	♀	494羽	49位	0.09919
	⑥20ET03335	BC	♀	494羽	27位	0.05466
GP	⑦20ET03380	BC	♀	245羽	21位	0.08571

ボーダーラインによる入賞率決着のトップを制したのは、比留川道夫鳩舎である。連盟長である傍ら総合優勝多数の強豪鳩舎であり、「役員たるものレースマンたれ」の代表格と言えよう。とはいえ、協会最高賞の受賞は初であり、はれて全国デビューを飾った形だ。

全日本ゼネラルCH賞には34羽で参加。ポイントを獲得した3レースは、Rgと地区Nが「データとコンディション」、GPが「データ」を参考にしてしている。主に成鳩をマークしたとあって、「前年の各レースの

実績」に注目したようだ。その一方でポイントゲッター4羽中3羽が「14EM04382」の直仔あるいは孫で、うち各2点を獲得した2羽が全兄弟(①&④、②&⑤)である。無意識なのかもしれないが、系統面での共通点があることには注目したい。ちなみにRgと地区Nでポイントに置いたコンディション面は、主に「観察」で良い悪いを選定。「目は濃く、絞りがいいもの」、「動作はおとなしい」というこの2点のようだ。

今年は桜花賞が厳しかったこともあり、未帰還に終わって悔しい思いをしたようだ。が、ぜひとも全国タイトル初受賞で感情を反転してほしいものである。



# 第20回(令和4年度)全日本ゼネラル

全国  
6位



## 望月 一鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：63年
- ・レース歴：62年
- ・鳩舎規模：種鳩20坪220羽  
選手鳩15坪300羽
- ・主力系統：内山輸入系
- ・22年春のスタート羽数：180羽
- ・選定方法  
Rg — データとコンディション  
地区N — データとコンディション  
GP — データとコンディション  
桜花賞 — データとコンディション

2回目

## 望月 一鳩舎 (静岡連盟・大静岡連合会)

獲得  
ポイント

7pt

合計入賞率：0.48888

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①20PA03161	BC	♂	572羽	18位	0.03147
	②20PA03233	BC	♂	572羽	36位	0.06294
地区N	③21PA03224	BC	♂	340羽	6位	0.01765
	④20PA03233	BC	♂	340羽	13位	0.03824
	⑤20PA03161	BC	♂	340羽	46位	0.13529
GP	⑥20PA03233	BC	♂	161羽	10位	0.06211
桜花賞	⑦20PA03233	BC	♂	85羽	12位	0.14118

全国  
7位



## 齋藤勝志鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：45年
- ・レース歴：45年
- ・鳩舎規模：種鳩3坪30羽  
選手鳩3坪100羽
- ・主力系統：地元飛び筋
- ・22年春のスタート羽数：47羽
- ・選定方法  
Rg — データとコンディション  
地区N — データとコンディション  
GP — データとコンディション  
桜花賞 — コンディション

初受賞

## 齋藤勝志鳩舎 (宮城連盟・ニュー仙南連合会)

獲得  
ポイント

7pt

合計入賞率：0.50904

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①21OB19716	BW	♂	2,477羽	114位	0.04602
	②21OB19728	BC	♀	2,477羽	16位	0.00646
地区N	③21OB19716	BW	♂	1,724羽	230位	0.13341
	④21OB19751	DCW	♀	1,724羽	178位	0.10325
	⑤21OB19728	BC	♀	1,724羽	2位	0.00116
GP	⑥21OB19751	DCW	♀	372羽	46位	0.12366
桜花賞	⑦21OB19724	BC	♂	305羽	29位	0.09508

前年のエースを投入して  
6年ぶりの返り咲き!

マーク大國である静岡連盟の2番手・望月一鳩舎がベストマーク賞の3位——全国6位に選出された。若き競翔家・菅原勝洋氏(※写真)とのタッグチームである同鳩舎は16年にプラチナマーク賞を獲得した実績者である。22年はこの賞レースに123羽で臨み、規程4レースとも「データとコンディション」でマーク鳩を選んだようだ。データ面では成鳩が多いとあって、「前年の翔歴」を参考にしようだが、うち2羽がなんと「連盟のAP」。この賞にかける強い意志が伝わってくることは

いわずもがな、であろう。プラス「血統」も重要視したようで、ポイントゲッター3羽は全て世界的銘鳩の直系。さらに自鳩舎CHの直仔とあつて、系統という面でもより確実性を高めている。コンディション面では「動作」に注目し、「餌を食へ終わったら自分のテリトリーに戻る」トリを重視したようだ。ともあれ望月鳩舎は昨年、プロックCHを射止め、今年は今全日本ゼネラルCH賞に返り咲いた。ところが同鳩舎は交通事故に遭い、現在治療中というところだが、1日でも早く完全回復し、この流れで「日本優秀鳩舎賞」を獲得してほしいものだ。

5年越しの受賞は  
地元鳩界初の快挙!

全国7位には、5年前から全日本ゼネラルCH賞にチャレンジしてきたという齋藤勝志鳩舎が輝いた。なお北の鳩レース王国である宮城連盟からの同賞受賞はゼネラルCH史上初のことである。全日本ゼネラルCH賞には27羽で臨み、一歳鳩をメインにマーク。参考にしたのは、Rg、地区N、GPが「データとコンディション」、桜花賞は「コンディション」とのことだ。データ面では一歳鳩主体であるため、Rgの場合、「前年の秋の成績」を参考。以降の2レースは主に前レース

のポイントゲッターがそのまま反映され、ゆえに2点獲得したレーサーが「21OB19716(※①&③)」、「21OB19728(※②&⑤)」、「21OB19751(※④&⑥)」——3羽も該当している。また純粋な速さではなく、「平均してまあまあ」のタイプを選び、大連盟の20%内に入賞できれば——とあって伸るか反るかではなく確実性に注目したというところであろう。なおコンディション面では「動作」を重視したようだ。全日本ゼネラルCH賞においてこれまで5点が最高得点だった齋藤鳩舎。壁を突き破って手にした栄光と達成感に、総合表彰式の場でぜひとも酔いしれてほしい。



# チャンピオン賞・ベストマーク賞



全国  
8位

## 中村 豊鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：11年
- ・レース歴：11年
- ・鳩舎規模：種鳩7坪80羽  
選手鳩7坪200羽
- ・主力系統：—
- ・22年春のスタート羽数：100羽
- ・選定方法  
Rg — データとコンディション  
地区N — データとコンディション  
GP — データとコンディション  
桜花賞 — データとコンディション



**最も勢いある団体の新進気鋭が  
待望の全国タイトル獲得!**

初受賞

## 中村 豊鳩舎(ニュー近畿連盟・紀泉連合会)

獲得ポイント **7pt** 合計入賞率：0.52469

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①21XA10344	BC	♀	2,557羽	83位	0.03246
	②21XA10314	B	♀	2,557羽	94位	0.03676
地区N	③21XA09824	B	♀	1,544羽	98位	0.06347
	④21XA10228	BC	♀	1,544羽	102位	0.06606
GP	⑤21XA10223	B	♀	610羽	102位	0.16721
桜花賞	⑥21XA09824	B	♀	315羽	17位	0.05397
	⑦21XA10244	BC	♀	315羽	33位	0.10476

全国8位は、中村豊鳩舎が選出。同鳩舎はそもそも兄と共に兄弟鳩舎として活躍し、わずかなキャリアでKBD B会長賞近畿地区1位、八郷国際鳩舎の国際C H優勝と華々しい成果をあげたことは記憶に新しい。全日本ゼネラルC H賞に42羽で参加。規程4レースとも「データとコンディション」の両面からマークを決定しようだ。データ面では「前レースの成績」に注目し、上位のトリを選択。コンディション面だと、規程4レースとも「足の温もり」を注視し、プラスRgは「筋肉」、地区

Nは「表情」をチェックしている。ポイントゲッターは全6羽。うち「21XA10344 (\*①/KBD B 会長賞近畿地区1位の孫)」と「21XA10228 (\*④/八郷・国際C H優勝の孫)」は前述のC Hの孫鳩だ。また「21XA09824 (\*⑥)」は、連盟のAP賞1位に輝いた上、品評会でも総合一席に選出。ベストポイントゲッターを挙げるとしたら、間違いなく見てよし、飛んでよしのこの1羽であろう。

中村鳩舎は今「最も勢いのある連盟」で「最も勢いのあるレースマン」の1人。今回の全日本ゼネラルC H賞の受賞を機にさらなる覚醒が期待される。

全国  
9位

## 山口宣之鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：62年
- ・レース歴：50年
- ・鳩舎規模：種鳩2.5坪30羽  
選手鳩2.5坪50羽
- ・主力系統：ケンペニール系、  
東京ヤンセン系、  
長島輸入系
- ・22年春のスタート羽数：43羽
- ・選定方法  
Rg — データとコンディション  
地区N — データとコンディション  
GP — データとコンディション  
桜花賞 — 未回答



**「成鳩+APタイプ」の  
王道式で初受賞!**

初受賞

## 山口宣之鳩舎(東京中連盟・ニュー東京連合会)

獲得ポイント **7pt** 合計入賞率：0.54781

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①20MM00061	BC	♀	884羽	93位	0.10520
	②20MM00062	BC	♀	884羽	64位	0.07240
地区N	③19MM00119	B	♀	381羽	54位	0.14173
	④20MM00065	BC	♂	381羽	9位	0.02362
GP	⑤20MM00069	B	♂	381羽	52位	0.13648
	⑥20MM00069	B	♂	234羽	11位	0.04701
	⑦20MM02926	BC	♂	234羽	5位	0.02137

全国9位は山口宣之鳩舎。総合優勝多数の強豪が満を持して全日本ゼネラルC H賞の初受賞を決めた。マークの選定方法はポイントを獲得した3レースのみ判明。いずれも「データとコンディション」の両面に注目しようだ。

データでは「一族の成績」、「過去の成績」を参考とし、ポイントゲッターは全て成鳩ということから、後者に関して「前年の成績」も選定に大きく影響している。これに対し、コンディション面での注目点は、「舎外(\*ビュンビュン飛んでいた)」、

「目・表情」、「動作」の3つとなっている。

貢献鳩6羽の翔歴を見てみると、コンスタントに上位に入賞を果たしたエースビジョンタイプばかり。うち「19MM00119 (\*③)」はRgで、「20MM00062 (\*②)」は地区Nでそれぞれ総合優勝を果たしている。山口鳩舎のポイントゲッターの成績は、もしマークしていたら「タラレバを想像してしまうようなハイレベルな内容だ。

今回の初受賞はあくまで序章となるのか?! 前述の理由から近々同連盟のライバルである「絶対王者」の及川茂鳩舎さえも脅かす存在となるかもしれない。



# 第20回(令和4年度)全日本ゼネラル

全国  
10位



初受賞

## 藤原多功磨鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：33年
- ・レース歴：32年
- ・鳩舎規模：種鳩8坪120羽  
選手鳩6坪150羽
- ・主力系統：—
- ・22年春のスタート羽数：53羽
- ・選定方法  
Rg — コンディション  
地区N — コンディション  
GP — 未回答  
桜花賞 — コンディション

## 藤原多功磨鳩舎(兵庫県連盟・社連合会)

獲得  
ポイント

7pt

合計入賞率：0.55951

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①21XB06219	BC	♀	1,187羽	4位	0.00337
	②21XB06166	BC	♀	1,187羽	61位	0.05139
	③21XB06240	BCW	♀	1,187羽	144位	0.12131
地区N	④21XB06166	BC	♀	670羽	4位	0.00597
	⑤21XB06156	BC	♀	670羽	49位	0.07313
桜花賞	⑥21XB06166	BC	♀	92羽	12位	0.13043
	⑦21XB06156	BC	♀	92羽	16位	0.17391

「掴んだ時の感触」、つまりセンスを頼りに選ぶといったものだ。藤原鳩舎的にはたまたま今回の中しだと思っただけだが、7点獲得したことからも実力としかいえないようがな

チェックするのは持ち寄り当日。賞率を見てわかるようにその象徴であらう。

全日本ゼネラルC H賞を受賞したことで全国デビューを飾った藤原鳩舎だが、前述のポテンシャルの高さからさらなるランクアップが期待できそう。

掌の感覚だけで7点！  
待望の全国デビュー

い。なお連盟のゼネラルC H賞となればGNでもマークを当てている。今春の藤原鳩舎は全日本ゼネラルC H賞以外にも「会長賞」と「K B D B会長賞連盟1位」をそれぞれ獲得。つまりエースビジョンクラスのレーサーを生み出すテクニク、種鳩スタツプを備えているということだ。うち3点を獲得した「21XB06166(\*②&④&⑥)」は、入賞率を見てわかるようにその象徴であらう。

## 全日本ゼネラルチャンピオン賞・データ

### 全日本ゼネラルチャンピオン賞受賞回数(3回以上)

氏名	所属	回数
及川 茂鳩舎	新日本連合会	15回
大高 繁鳩舎	北つくば連合会	6回
吉村 和道鳩舎	宇都宮中央連合会	6回
黒田 哲夫鳩舎	上総連合会	6回
吉田 三男鳩舎	東愛知連合会	5回
磯島 保博鳩舎	瀬戸内連合会	5回
鈴木 信義鳩舎	東京南部連合会	5回
橋本三紀男鳩舎	しらさぎ西連合会	4回
横地 光彦鳩舎	静岡県連合会	4回
鶴岡 英明鳩舎	元・成田連合会	3回
丹羽 和一鳩舎	三重第三連合会	3回
杉山 幸正鳩舎	元・静岡中央連合会	3回

※所属は2022年時点

### ダイヤモンドマーク賞歴代受賞鳩舎

年	受賞者	所属	ポイント
2022年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	10 0.44014
2021年	吉村和道鳩舎	宇都宮中央連合会	8 0.56056
2020年	—コロナ禍による春レース中止で授賞なし—		
2019年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	9 0.42927
2018年	新井 繁鳩舎	埼玉北辰連合会	9 0.54017
2017年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	8 0.24776
2016年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	9 0.28629
2015年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	9 0.31482
2014年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	9 0.52200
2013年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	8 0.25992
2012年	横地光彦鳩舎	静岡県連合会	8 0.59994
2011年	—授賞なし—		
2010年	吉田三男鳩舎	東愛知連合会	9 0.93155
2009年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	10 0.40588
2008年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	9 0.40910
2007年	大高 繁鳩舎	茨城県西連合会	8 0.33733
2006年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	10 0.29797
2005年	及川 茂鳩舎	新日本連合会	10 0.20747
2004年	今井雅之鳩舎	姫路連合会	10 0.14929
2003年	今井雅之鳩舎	姫路連合会	9 0.11162

※所属連合会は当時

### 令和4年度受賞外の6・7pt鳩舎 ※会員名簿順

受賞者	所属	pt&入賞率
矢島圭一郎鳩舎	京浜横須賀連合会	7 0.63629
花岡 栄一鳩舎	親和連合会	6 0.21596
船川 勝信鳩舎	埼玉連合会	6 0.36546
新井 繁鳩舎	埼玉北辰連合会	6 0.39608
外山 芳和鳩舎	埼玉吉川連合会	6 0.47105
今田 俊児鳩舎	上総中央連合会	6 0.51651
吉村 和道鳩舎	宇都宮中央連合会	6 0.52746

※所属は2022年時点